

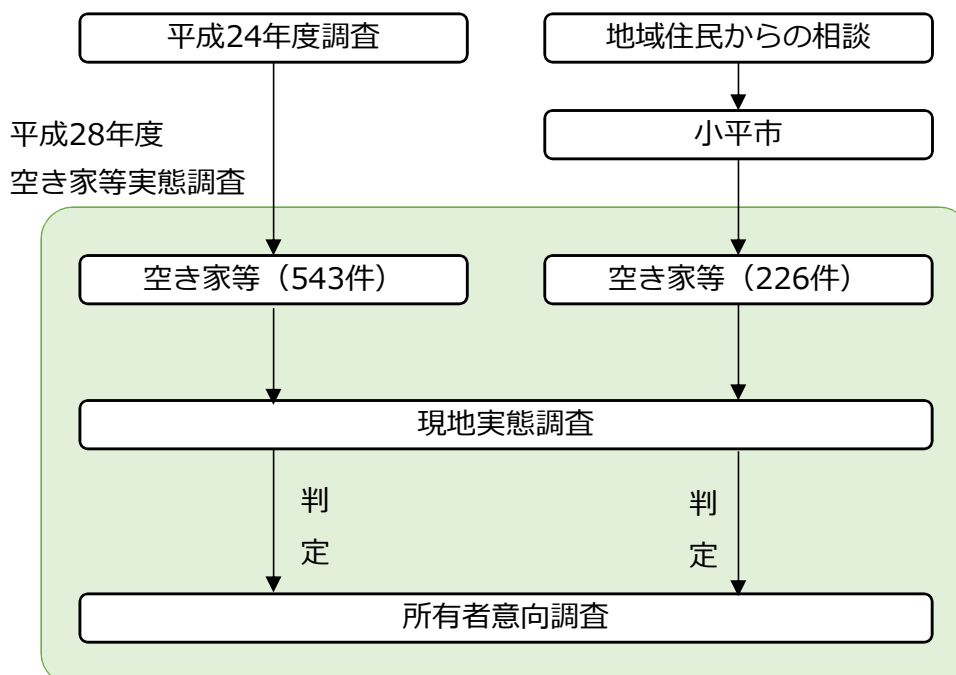
1. これまでの取組み

小平市では、平成24年度に市内全域の建築物約80,000戸を対象として、空き家等の所在や管理状況について実態を把握することを目的に現地実態調査を実施し、543件の空き家等を確認しました。

また、地域住民から相談の寄せられた空き家等について管理台帳を作成しその記録を取りながら、必要に応じて現地確認や所有者等の特定、改善要請、経過観察等を行い、平成24年度から平成28年9月末までに226件対応を行ってきました。

平成28年度は、「空家等対策の推進に関する特別措置法」（以下「特措法」）が平成27年5月26日に全面施行されたことに伴い、特措法で定める市内の空き家等について、今後、市として総合的かつ計画的な対策を講じていくために必要な基礎資料を確保する趣旨から、平成24年度調査で確認した空き家等と、これまでに相談の寄せられた空き家等と思われる建物について、現地実態調査及び所有者等意向調査を実施しました。

図表3-1 これまでの取組みイメージ



2. 調査設計

(1) 調査の目的

平成24年度調査時点での空き家等と地域住民から相談の寄せられた空き家等に対し、外観目視による現地実態調査を実施し、市内に存在する空き家等の最新の状況を把握・分析するとともに、空き家等と推定される建物所有者等に対し意向調査を実施し、現在及び将来的に当該空き家等をどのように処遇する考えであるかを把握することで、今後、特措法にある空家等対策計画策定やその他の住宅施策等により良好な住環境を維持保全し、市として総合的かつ計画的な対策を講じていくために必要な基礎資料を確保するために実施しました。

(2) 調査地域

小平市内 調査対象箇所

(3) 調査対象

・現地実態調査

① 平成24年度調査で確認した空き家等	543件
② 地域住民から相談の寄せられた空き家等	※239件
合計 (①+②)	782件

※地域住民から相談の寄せられた空き家等は226件であったが、管理台帳では同一敷地に複数の建物がある場合1件として計算していたため、建物数は239件であった。

・所有者等意向調査

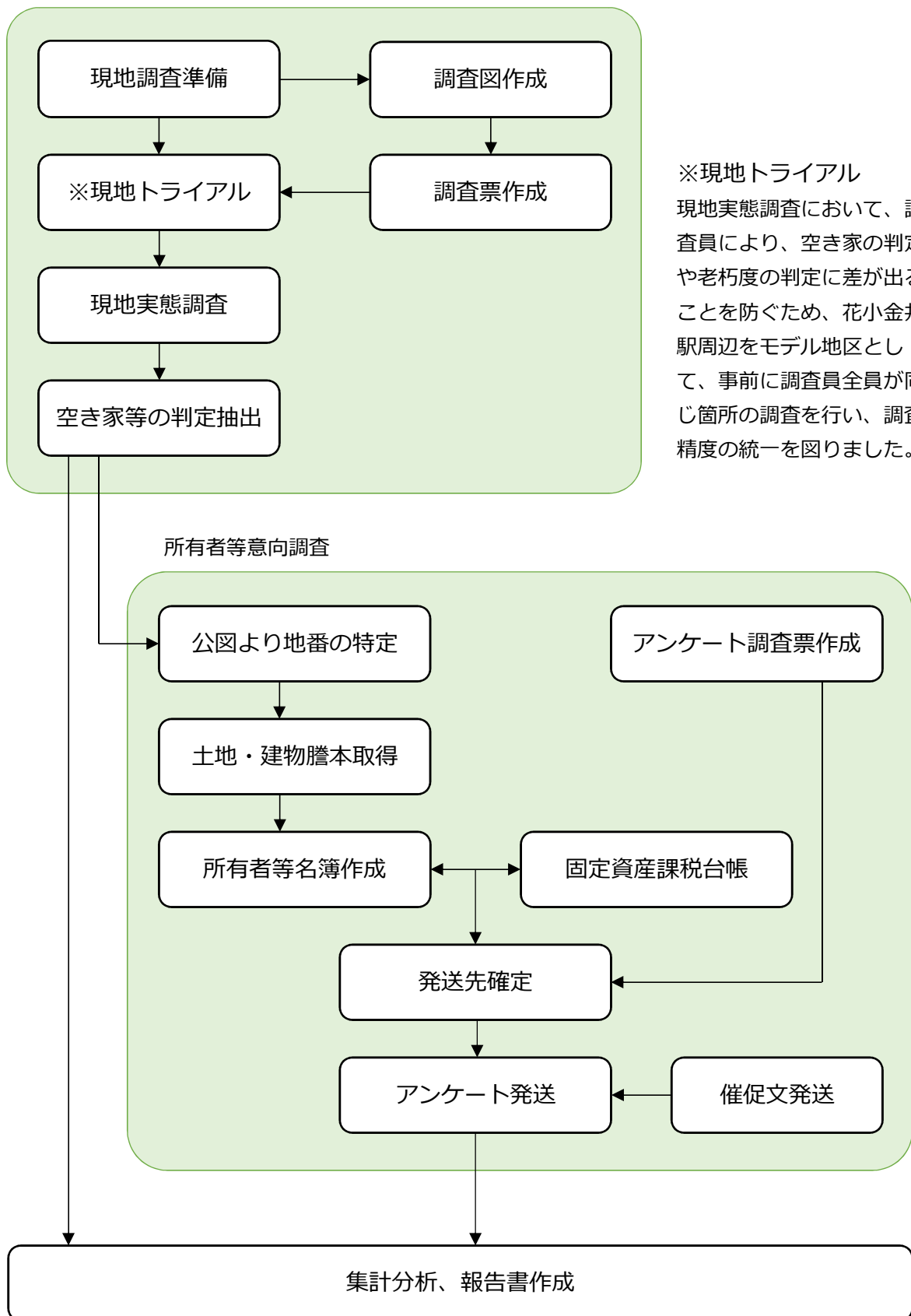
現地実態調査結果から、空き家等と推定された建物所有者等に対して実施

(4) 調査期間

平成28年6月から平成28年11月まで

(5) 調査フロー

図表3-2 調査全体フロー
現地実態調査



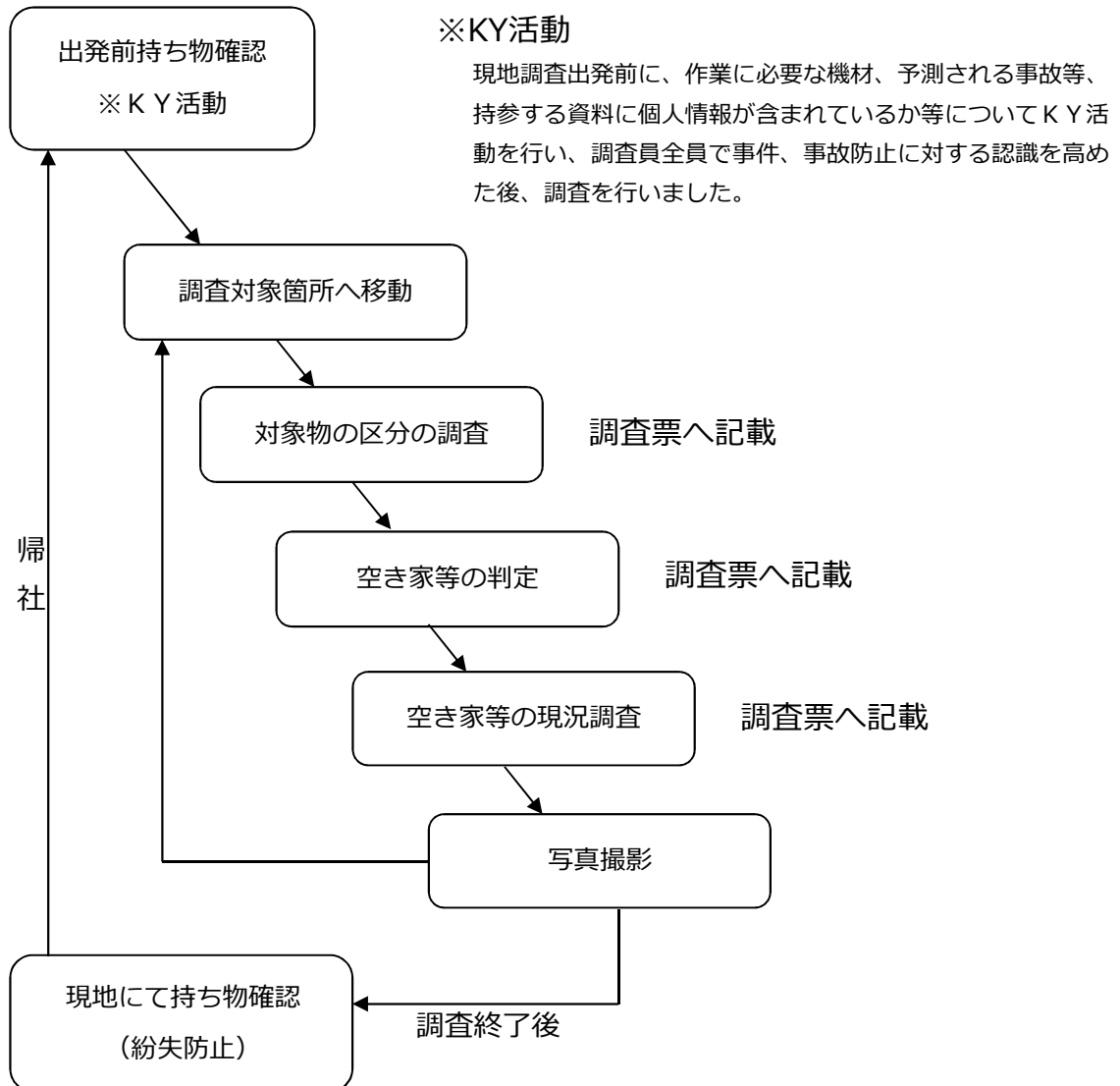
3. 現地実態調査

(1) 調査手法

調査票を用いた外観目視により以下の項目を調査しました。

- ①対象物の区分
主用途、構造、階数、駐車場有無、接道状況、前面道路幅員
- ②空き家等の判定
表札の有無、郵便受けの状況、電気メーターの稼働状況、
戸戸の状況、生活状況等から居住の有無を判断
- ③空き家等の現況調査
倒壊の危険性、防犯、生活環境、景観等の確認
- ④写真撮影

図表3-3 現地実態調査フロー



(2) 携行品

- ・ 調査図
- ・ 身分証明書
- ・ デジタルカメラ
- ・ 現地調査マニュアル（緊急連絡先を含む）
- ・ 調査のお知らせ
- ・ 調査票
- ・ 社員証
- ・ メジャー（測定機器）
- ・ 筆記用具
- ・ 腕章

(3) 調査のお知らせ

平成 28 年 6 月 10 日
小平市総務部地域安全課
地域安全担当

小平市空き家等実態調査業務委託について

日頃より、市政に対しましてご理解、ご協力を賜り、深く感謝いたしております。

このたび小平市では、平成 27 年 5 月 26 日に完全施行された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に伴い、空き家等について、今後、総合的かつ計画的な対策を講じていくために必要な基礎資料を作成するために、下記のとおり空き家等実態調査を行うこととなりました。

この調査は、小平市内に存在する空き家等について、外観目視による現況調査を行うものです。原則公道から調査を行いますが、公道上での写真撮影や軽作業等を行うことがありますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、作業従事者は、小平市発行の「身分証明書」を携帯し、腕章の着用をしております。ご不審、ご不明な点などがございましたら、身分証明書の提示をお求めいただくか、下記連絡先か受託者までお問い合わせください。

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 委託件名 | 小平市空き家等実態調査業務委託 |
| 2. 委託箇所 | 小平市指定場所 |
| 3. 委託期間 | 平成 28 年 6 月中旬から 平成 28 年 12 月中旬まで |
| 4. 連絡先 | 小平市総務部地域安全課地域安全担当
小平市小川町 2-1333
電話番号 042-346-9614 |
| 5. 受託者 | 大同情報技術株式会社
東京都杉並区和田 3-54-5
電話番号 03-3316-8321 |

(4) 調査票

					調査番号	
1 所在地等						
調査実施日	平成	年	月	日	調査員	住宅地図 () ページ
所在地	小平市				地番	
土地所有者	(住所)				(氏名)	他 名
建物所有者	(住所)				(氏名)	他 名
2 対象物の区分						
主用途	<input type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 集合住宅 <input type="checkbox"/> 長屋 <input type="checkbox"/> 倉庫、物置 <input type="checkbox"/> 店舗兼住宅 <input type="checkbox"/> 事務所等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
構造	<input type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 防火木造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造 <input type="checkbox"/> 鉄筋・鉄骨コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 ()					
階数	<input type="checkbox"/> 1階建て <input type="checkbox"/> 2階建て <input type="checkbox"/> 3階建て <input type="checkbox"/> 4階建て以上				駐車場	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
接道状況	<input type="checkbox"/> 2m未満 <input type="checkbox"/> 2～4m未満 <input type="checkbox"/> 4m以上 <input type="checkbox"/> その他 () ※接道状況とは、道路に接する間口。					
境界接道状況	<input type="checkbox"/> 2m未満 <input type="checkbox"/> 2～4m未満 <input type="checkbox"/> 4m以上 <input type="checkbox"/> その他 () ※境界接道状況とは、道路の幅員。					
建築年月日	(和暦)	年	月	日	<input type="checkbox"/> 不明	駅からの距離(徒歩) (最寄り駅) 駅(距離)約 m
3 空家等の判定						
判定	<input type="checkbox"/> 空家等 <input type="checkbox"/> 居住中(使用中) <input type="checkbox"/> 不明(理由:)					
判定指標	表札	<input type="checkbox"/> 有(氏名:)		<input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 管理者看板有り
	郵便受	<input type="checkbox"/> 閉鎖又は無い		<input type="checkbox"/> 郵便物が溜まっている		<input type="checkbox"/> 郵便物が溜まっていない
	電気メーター	<input type="checkbox"/> 動いていない		<input type="checkbox"/> 動いている		<input type="checkbox"/> 確認できない
	ガスメーター	<input type="checkbox"/> 動いていない		<input type="checkbox"/> 動いている		<input type="checkbox"/> 確認できない
	雨戸	<input type="checkbox"/> 全部締め切り		<input type="checkbox"/> 一部締め切り		<input type="checkbox"/> 締め切り無し
	門(入り口)	<input type="checkbox"/> 封鎖または施錠されている		<input type="checkbox"/> 人が出入りできない		<input type="checkbox"/> 封鎖なし、出入り可能
生活状況	<input type="checkbox"/> カーテンがない <input type="checkbox"/> 家庭用品が見えない <input type="checkbox"/> 鉢植え等がない <input type="checkbox"/> 生活観がない(人が住んでいる気配がない)					
判定備考						
4 空家等の現況						
倒壊の危険性	建物の傾斜	<input type="checkbox"/> 大きな傾きあり		<input type="checkbox"/> 軽度の傾きあり		<input type="checkbox"/> 傾きなし
	屋根(軒下も含む)	<input type="checkbox"/> 穴あき又は波打ち		<input type="checkbox"/> 一部損傷		<input type="checkbox"/> 問題なし
	外壁	<input type="checkbox"/> 剥落又は穴あき		<input type="checkbox"/> 下地一部露出		<input type="checkbox"/> 問題なし
防犯	塀、柵の状況	<input type="checkbox"/> 大きな亀裂や傾きあり		<input type="checkbox"/> 一部亀裂や傾きあり		<input type="checkbox"/> 問題なし
	施錠状況	<input type="checkbox"/> 無施錠又は壊れている		<input type="checkbox"/> 一部無施錠あり		<input type="checkbox"/> 問題なし
	窓ガラスの状況	<input type="checkbox"/> 破損や開放あり		<input type="checkbox"/> 一部破損や開放あり		<input type="checkbox"/> 問題なし
生活環境	雑草・樹木	<input type="checkbox"/> 敷地外に出ている		<input type="checkbox"/> 手入れなし		<input type="checkbox"/> 手入れあり
	樹木(低木以外)	<input type="checkbox"/> 敷地外に出ている		<input type="checkbox"/> 手入れなし		<input type="checkbox"/> 手入れあり
	ゴミの散乱	<input type="checkbox"/> 敷地外に出ている		<input type="checkbox"/> 敷地内に放置されている		<input type="checkbox"/> 問題なし
景観	建物の外観	<input type="checkbox"/> 著しい汚損等がある		<input type="checkbox"/> 一部汚損等がある		<input type="checkbox"/> 問題なし
	バルコニー、手すり等	<input type="checkbox"/> 著しい汚損等がある		<input type="checkbox"/> 一部汚損等がある		<input type="checkbox"/> 問題なし
	動物や虫の有無	<input type="checkbox"/> 著しい発生がある		<input type="checkbox"/> 軽度な発生がある		<input type="checkbox"/> 問題なし
5 判定(該当する項目に○を付ける。)						
老朽度	高い ← A B C D E → 低い					
管理不全度	高い ← A B C D E → 低い					
写真番号						

4. 所有者等意向調査

(1) 調査手法

①所有者等調査

現地実態調査で空き家等と判定した建物について、公図より地番を特定し法務局の登記情報から土地および建物登記簿謄本から、以下の項目を調査しました。

土地登記簿

土地所有者氏名、住所、共有者持分、地目、地積

建物登記簿

建物所有者氏名、住所、共有者持分、建物番号

建物の種類（居宅、共同住宅、店舗、など）

建物の構造、階数、床面積

登記の原因および日付（新築年月日や増築年月日の記録）

②発送先の特定

より多くの空き家等の所有者等の意向を把握する必要があることから、調査した登記情報を基に所有者等名簿を作成し、固定資産課税情報と突合を行い、納税通知先へアンケートを送付しました。

特措法の施行に伴い、空き家等対策のために固定資産課税情報を市内部で利用することができることとなりましたが、利用する情報については、次の3点に十分留意の上、取り扱いました。

- ・ 内部で利用することが可能な情報について

利用可能な情報は、空き家等の所有者等の氏名、住所等、特措法の施行のために必要な限度の情報に限られていること。

- ・ 内部で利用するに当たっての手續

空き家等担当部局が税務部局に情報の提供を求める際には、空き家等の敷地の地番などの情報を提供するなど、照会の方法を事前に税務部局と調整すること。

- ・ 把握した情報の利用

固定資産課税情報を空き家等担当部局が利用することができるのは、特措法の施行のために必要な限度であり、例えば、空き家等に係る固定資産税の納税義務者本人等が、空き家等の所有者であることを確認するために情報を利用すること等は認められるが、それ以外の者に情報を提供することは許されていないこと。

③アンケート調査票

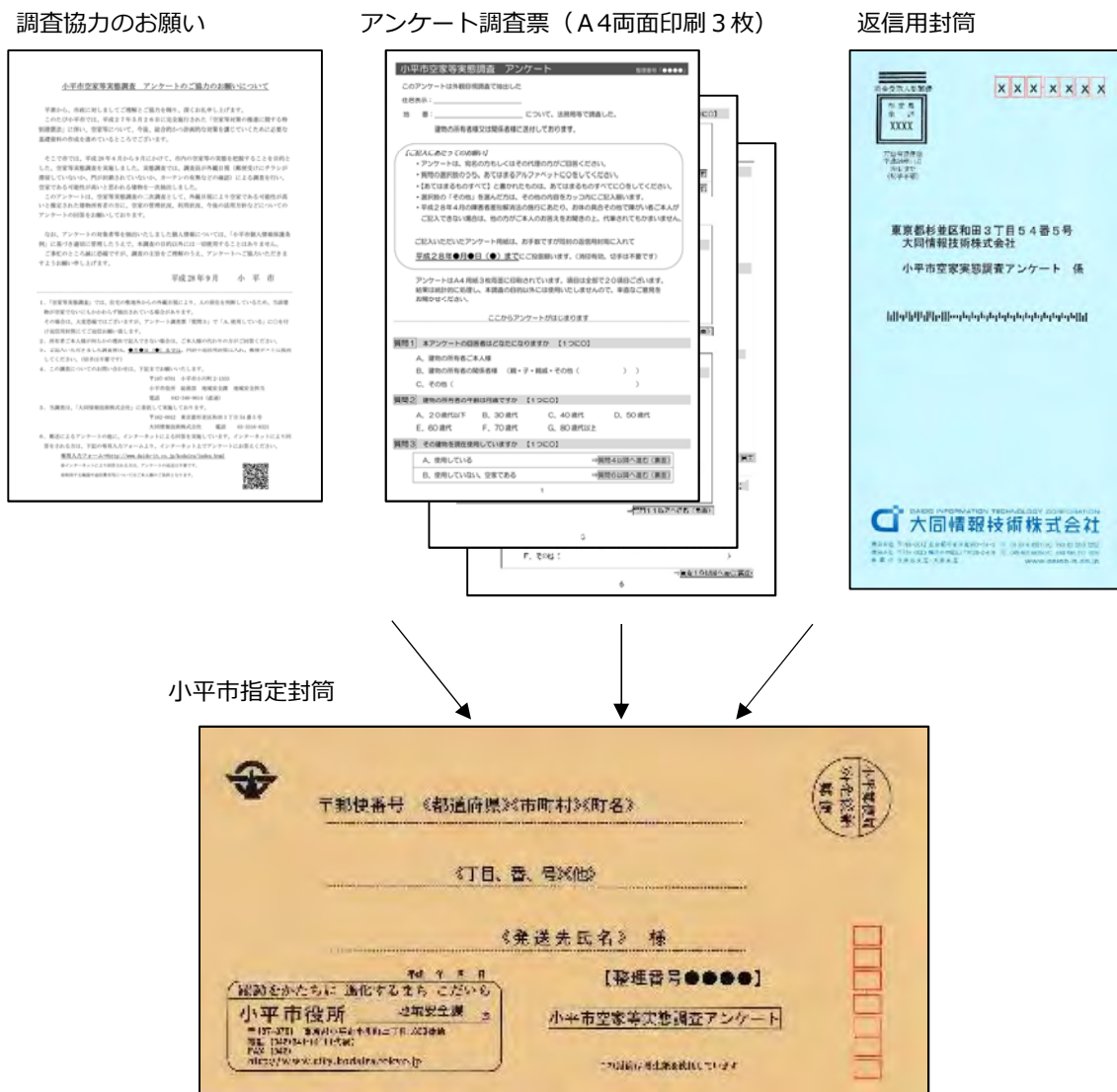
アンケート調査票は、以下の設問内容としました。

アンケート回答者、建物所有者等について	
質問1	本アンケートの回答者はどなたになりますか
質問2	建物の所有者の年齢は何歳ですか
利用実態	
質問3	その建物を現在使用していますか
質問4	その建物をどのように使用していますか
質問5	その建物の使用頻度はどれくらいですか
空き家の要因	
質問6	その建物を使用しなくなった時期はいつですか
質問7	その建物を使用していない理由はどれにあたりますか
維持管理状況	
質問8	その建物の維持管理（清掃、草木の手入れなど）はどのようにしていますか
質問9	維持管理（清掃、草木の手入れなど）はどれくらいの頻度で行っていますか
質問10	維持管理を行っていない（できない）理由はどれにあたりますか
建物の情報	
質問11	その建物はいつごろ建築されましたか
質問12	その建物は耐震改修を行ったことがありますか
質問13	その建物は現在どのような状態ですか
利活用に向けた意向	
質問14	今後、建物が空家になった場合または空家である場合に、空家を利活用する意向はありますか
質問15	どのように利活用したいと考えますか
質問16	利活用する上で何か条件はありますか
質問17	利活用する上で、国や都、市にどんな支援を期待しますか
質問18	その建物や土地を利活用しない理由はどれにあたりますか
質問19	所有されている建物や土地を行政、民間事業者、市民活動団体に貸すご意向はありますか
自由回答	
質問20	そのほかに建物を管理・利活用する上で、不安に思うことや市に期待すること、住宅施策等についてご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。
	氏名、住所、電話番号

④アンケート発送

アンケート調査票はA4用紙両面印刷3枚とし、アンケート調査票のほか、調査協力をお願い、返信用封筒を小平市指定の封筒を用いて発送しました。回答期限は2週間に設定しました。

図表3-4 封かん内容

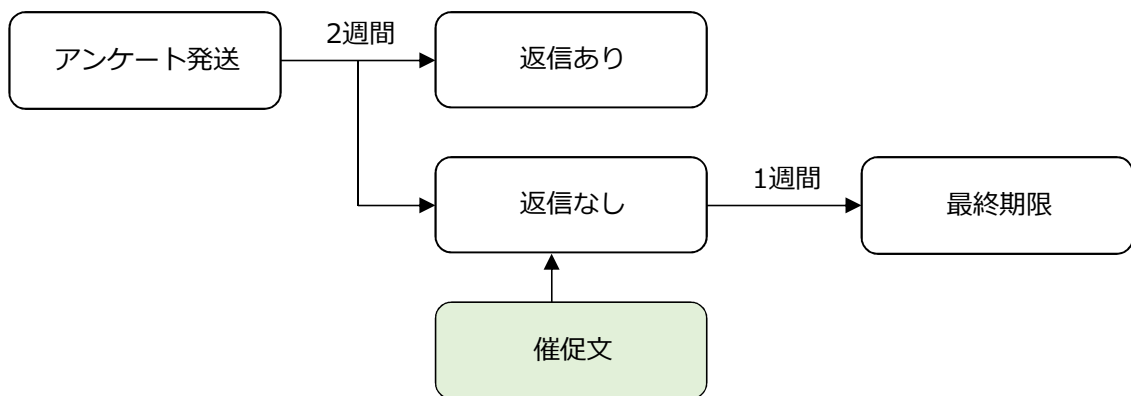


⑤催促文発送

アンケート調査票および調査協力をお願い文に記載した返信期限までに回答を得られなかった所有者等に対し、催促文を発送しました。催促文には、アンケート調査票、調査協力をお願い、返信用封筒を再度同封しました。

催促文に同封したアンケート調査票の回答期限は1週間としました。

図表3-5 回答期限



(2) アンケート調査票

小平市空き家等実態調査 アンケート 整理番号「●●●●」												
<p>このアンケートは外観目視調査で抽出した</p> <p>住居表示： _____</p> <p>地番： _____ について、法務局等で調査した、 建物の所有者様又は関係者様に送付しております。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 15px; margin: 10px 0;"> <p>【ご記入にあたってのお願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートは、宛名の方もしくはその代理の方がご回答ください。 質問の選択肢のうち、あてはまるアルファベットに○をしてください。 【あてはまるものすべて】と書かれたものは、あてはまるものすべてに○をしてください。 選択肢の「その他」を選んだ方は、その他の内容をカッコ内にご記入願います。 平成28年4月の障害者差別解消法の施行にあたり、お体の具合その他で障がい者ご本人にご記入できない場合は、他の方がご本人のお答えをお聞きの上、代筆されてもかまいません。 <p>ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて <u>平成28年●月●日（●）まで</u>にご投函願います。（消印有効。切手は不要です）</p> <p>アンケートはA4用紙3枚両面に印刷されています。項目は全部で20項目ございます。結果は統計的に処理し、本調査の目的以外には使用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせください。</p> <p style="text-align: center;">..... ここからアンケートがはじまります</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #eee; margin-bottom: 10px;"> <p>質問1 本アンケートの回答者はどなたになりますか 【1つに○】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> A. 建物の所有者ご本人様 B. 建物の所有者の関係者様（親・子・親戚・その他（ ）） C. その他（ ） <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #eee; margin-bottom: 10px;"> <p>質問2 建物の所有者の年齢は何歳ですか 【1つに○】</p> </div> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">A. 20歳代以下</td> <td style="width: 25%;">B. 30歳代</td> <td style="width: 25%;">C. 40歳代</td> <td style="width: 25%;">D. 50歳代</td> </tr> <tr> <td>E. 60歳代</td> <td>F. 70歳代</td> <td>G. 80歳代以上</td> <td></td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #eee; margin-bottom: 10px;"> <p>質問3 その建物を現在使用していますか 【1つに○】</p> </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">A. 使用している</td> <td style="padding-left: 20px;">⇒質問4以降へ進む（裏面）</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">B. 使用していない、空家である</td> <td style="padding-left: 20px;">⇒質問6以降へ進む（裏面）</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">1</p>	A. 20歳代以下	B. 30歳代	C. 40歳代	D. 50歳代	E. 60歳代	F. 70歳代	G. 80歳代以上		A. 使用している	⇒質問4以降へ進む（裏面）	B. 使用していない、空家である	⇒質問6以降へ進む（裏面）
A. 20歳代以下	B. 30歳代	C. 40歳代	D. 50歳代									
E. 60歳代	F. 70歳代	G. 80歳代以上										
A. 使用している	⇒質問4以降へ進む（裏面）											
B. 使用していない、空家である	⇒質問6以降へ進む（裏面）											

(使用している)

(質問3でAを選んだ方にお伺いします)

質問4 その建物をどのように使用していますか 【1つに〇】

- A. 自宅として使用している
- B. 通勤などで平日のみ使用している
- C. 週末や休暇時に使用している
- D. 賃貸住宅として貸出している
- E. 物置き・倉庫として使用している
- F. その他 ()

質問5 その建物の使用頻度はどれくらいですか 【1つに〇】

- A. 毎日
- B. 週に1~2回程度
- C. 月に1~2回程度
- D. 2~3ヶ月に1回
- E. 1年に数回
- F. 数年に1回以上
- G. わからない

⇒質問8以降へ進む

(使用していない、空家である)

(質問3でBを選んだ方にお伺いします)

質問6 その建物を使用しなくなった時期はいつですか 【1つに〇】

- A. 1年未満
- B. 1年~5年未満
- C. 5年~10年前
- D. 10年以上前
- E. わからない

質問7 その建物を使用していない理由はどれにあたりますか

【あてはまるものすべてに〇】

- A. 転勤等で長期不在にしているため
- B. 建替え、増改築、修繕などの工事により一時的に退去しているため
- C. 別の住居へ転居したため
- D. 賃借人などが退去したため
- E. すでに売却が決まっているため
- F. すでに取り壊す予定のため
- G. 老朽化して使用できないため
- H. 固定資産税など税制上の理由で取り壊しを控えているため
- I. その他 ()
- J. わからない

⇒質問8以降へ進む

質問8 その建物の維持管理（清掃、草木の手入れなど）はどのようにしていますか 【1つに〇】

- A. 定期的に自ら見回り点検・清掃等を行っている
- B. 不定期に自ら見回り点検・清掃等を行っている
- C. 管理業者に委託して行っている
- D. その他（ ） ⇒質問 9以降へ進む
- E. ほとんど何もしていない ⇒質問10以降へ進む

（維持管理をしている）

（質問8でA～Dを選んだ方にお伺いします）

質問9 維持管理（清掃、草木の手入れなど）はどれくらいの頻度で行っていますか

【1つに〇】

- A. 週に1～数回程度
- B. 月に1～数回程度
- C. 半年に1～数回程度
- D. 1年に1～数回程度
- E. 数年に1～数回程度
- F. その他（ ）

⇒質問11以降へ進む（裏面）

（維持管理をしていない、ほとんど何もしていない）

（質問8でEを選んだ方にお伺いします）

質問10 維持管理を行っていない（できない）理由はどれにあたりますか

【あてはまるものすべてに〇】

- A. 遠方に住んでいるため、維持管理ができない
- B. 費用の問題で維持管理できない
- C. 高齢のため、維持管理したくてもできない
- D. 本人（自分）が施設に入所しており、他に維持管理する親族等がない
- E. 近い将来（約1年以内）に売却する予定があるため、維持管理する必要がない
- F. 維持管理する気持ちがでない
- G. その他（ ）

⇒質問11以降へ進む（裏面）

質問11 その建物はいつごろ建築されましたか 【1つに〇】

- A. 昭和40（1965）年以前
- B. 昭和41（1966）年～昭和56（1981）年5月
- C. 昭和56（1981）年6月～平成12（2000）年5月
- D. 平成12（2000）年6月以降
- E. わからない

質問12 その建物は耐震改修を行ったことがありますか 【1つに〇】

- A. 耐震改修を行った →（いつ頃行いましたか？ _____年_____月頃）
- B. 耐震改修を行っていない C. わからない

質問13 その建物は現在どのような状態ですか 【1つに〇】

- A. 現在でも問題なく住める（利用できる）状態である
- B. 一部改修すれば利用できる（改修箇所： _____）
- C. 危険性はないが利用できる状態ではない（理由を下にお書きください）
- D. このままでは危険である（理由を下にお書きください）
- E. 把握していない（わからない）
- F. その他（ _____）

（質問13でCまたはDを選んだ方にお伺いします）

「C. 危険性はないが利用できる状態ではない」または、

「D. このままでは危険である」理由を下記に具体的にご記入ください

質問14 今後、建物が空家になった場合または空家である場合に、空家を利活用する意向はありますか 【1つに〇】

- | | |
|----------------|------------|
| A. 条件次第で利活用したい | ⇒質問15以降へ進む |
| B. 利活用するつもりはない | ⇒質問18以降へ進む |

(質問14でAを選んだ方にお伺いします)

質問15 どのように利活用したいと考えますか 【あてはまるものすべてに○】

- A. 自らの居住のために利用したい
- B. 自らの所有物の保管場所や別荘として利用したい
- C. 親や子ども、親族等のために利用したい
- D. 賃貸物件として利活用したい
- E. 購入者を募集して、売却したい
- F. 建物を取り壊して、更地にしたい
- G. その他 ()

質問16 利活用する上で何か条件はありますか 【あてはまるものすべてに○】

- A. 修繕や建替え費用のめどが立てば利活用したい
- B. 良い条件の借り手が見つければ利活用したい
- C. 十分な利益が確保できれば利活用したい
- D. 期間を定めて貸し、期間終了後は自分で利用したい
- E. 特に条件はない
- F. その他 ()

質問17 利活用する上で、国や都、市にどんな支援を期待しますか

【あてはまるものすべてに○】

- A. 修繕工事や維持管理に詳しい建築・不動産の専門家を紹介してほしい
- B. 資金繰りに詳しい金融・不動産の専門家を紹介してほしい
- C. 信頼できる機関に借り手を紹介してほしい
- D. 建物の耐震性、老朽化による危険性の診断を支援してほしい
- E. 耐震改修や修繕の費用を助成してほしい
- F. 取り壊しや建替えの費用を助成してほしい
- G. その他 ()

⇒質問19以降へ進む(裏面)

(質問14でBを選んだ方にお伺いします)

質問18 その建物や土地を利活用しない理由はどれにあたりますか【あてはまるものすべてに○】

- A. 将来自ら使用する予定があるから
- B. 建替えや売却がすでに決まっているから
- C. 他人には貸し出したくないから
- D. 資産として保有していたいから
- E. 利活用したほうがよいと思うが、具体的な方法や手順がわからないから
- F. その他 ()

⇒質問19以降へ進む(裏面)

質問19 所有されている建物や土地を行政、民間事業者、市民活動団体に貸すご意向はありますか

【あてはまるものすべてに○、AからEを選んだ方は「 」内のものにも○】

- A. 管理を行ってくれるのであれば、貸してもよい 「有償・無償・どちらでも」
- B. 自治体から貸主（所有者等）に助成金が出るのであれば、貸してもよい 「有償・無償・どちらでも」
- C. 地域活性化のため使うのであれば、貸してもよい 「有償・無償・どちらでも」
- D. 高齢者支援サービスのために使うのであれば、貸してもよい 「有償・無償・どちらでも」
- E. 子育て支援サービスのために使うのであれば、貸してもよい 「有償・無償・どちらでも」
- F. 建物を取り壊して公共用地（公園等）として行政に使用してもらいたい
- G. その他（ _____ ）
- H. 行政等に貸す意向はない

質問20 そのほかに建物を管理・利活用する上で、不安に思うことや市に期待すること、住宅施策等についてご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

これでアンケートはおわりです

最後までご回答いただき誠にありがとうございました。アンケートのご回答及び意見は、小平市のこれからの空家対策を検討するための貴重なご意見として活用させていただきます。

★さしつかえなければ、連絡先氏名等をご記入ください
ご回答について詳しくお聞きしたい場合にご連絡することがあります。

氏 名 _____

住 所 _____

電話番号 _____

空家等の適正な管理のお願い

昨年、空家等対策の推進に関する特別措置法が施行されました。同法に基づく特定空家等（倒壊の恐れや衛生上問題のある空家等）に該当すると土地の固定資産税等の税額が高くなる可能性があります。

(3) 調査協力お願い

小平市空き家等実態調査 アンケートのご協力をお願いについて

平素から、市政に対しましてご理解とご協力を賜り、深くお礼申し上げます。

このたび小平市では、平成27年5月26日に完全施行された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」に伴い、空き家等について、今後、総合的かつ計画的な対策を講じていくために必要な基礎資料の作成を進めているところでございます。

そこで市では、平成28年6月から9月にかけて、市内の空き家等の実態を把握することを目的とした、空き家等実態調査を実施しました。実態調査では、調査員が外観目視（郵便受けにチラシが滞留していないか、門が封鎖されていないか、カーテンの有無などの確認）による調査を行い、空き家である可能性が高いと思われる建物を一次抽出しました。

このアンケートは、空き家等実態調査の二次調査として、外観目視により空き家である可能性が高いと推定された建物所有者の方に、空き家の管理状況、利用状況、今後の活用方針などについてのアンケートの回答をお願いしております。

なお、アンケートの対象者等を抽出いたしました個人情報については、「小平市個人情報保護条例」に基づき適切に管理したうえで、本調査の目的以外には一切使用することはありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の主旨をご理解のうえ、アンケートへご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年9月 小 平 市

1. 「空き家等実態調査」では、住宅の敷地外からの外観目視により、人の居住を判断しているため、当該建物が空き家でないにもかかわらず抽出されている場合があります。
その場合は、大変恐縮ではございますが、アンケート調査票「質問3」で「A. 使用している」に○を付け返信用封筒にてご返信お願い致します。
2. 所有者ご本人様が何らかの理由で記入できない場合は、ご本人様の代わりの方がご回答ください。
3. ご記入いただきました調査票は、●月●日（●）までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）
4. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
〒187-8701 小平市小川町2-1333
小平市役所 総務部 地域安全課 地域安全担当
電話 042-346-9614（直通）
5. 当調査は、「大同情報技術株式会社」に委託して実施しております。
〒162-0012 東京都杉並区和田3丁目54番5号
大同情報技術株式会社 電話 03-3316-8321
6. 郵送によるアンケートの他に、インターネットによる回答を実施しています。インターネットにより回答をされる方は、下記の専用入力フォームより、インターネット上でアンケートにお答えください。

専用入力フォーム⇒<http://www.daido-it.co.jp/kodaira/index.html>

※インターネットにより回答される方は、アンケートの返送は不要です。

※利用する機器や通信費用等についてはご本人様のご負担となります。



(4) 催促文

小平市空家等実態調査 アンケートへのご協力をお願い

平素は、小平市政に、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、先日、「小平市空家等実態調査」のアンケート用紙をお送りしておりますが、ご回答いただきましたでしょうか。もし、まだ回答されていないようでしたら、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

空家等の所有者の皆様からいただいたアンケート結果は、今後の小平市の空家等対策に関する施策に活用させていただきます。一人でも多くの方からのご意見をいただくことで、調査結果が正確なものになりますので、貴重なご意見等をお寄せください。

アンケート用紙を同封いたしましたので、お忙しいとは存じますが、回答をご記入の上、返信用封筒に入れて、平成●年●月●日(●)までに投函してくださいようお願い申し上げます。

今回お送りしたアンケート用紙は、以前にお送りしたものと内容は同じです。どちらか一方にご記入してください。

なお、本状と行き違いにすでにアンケート用紙をご返送済みでしたら、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

平成28年10月 小平市

お問い合わせ

〒187-8701

小平市小川町2-1333

小平市役所総務部地域安全課

電話 042-346-9614 (直通)

受付時間 平日8時30分～17時15分

(5) インターネットでの回答

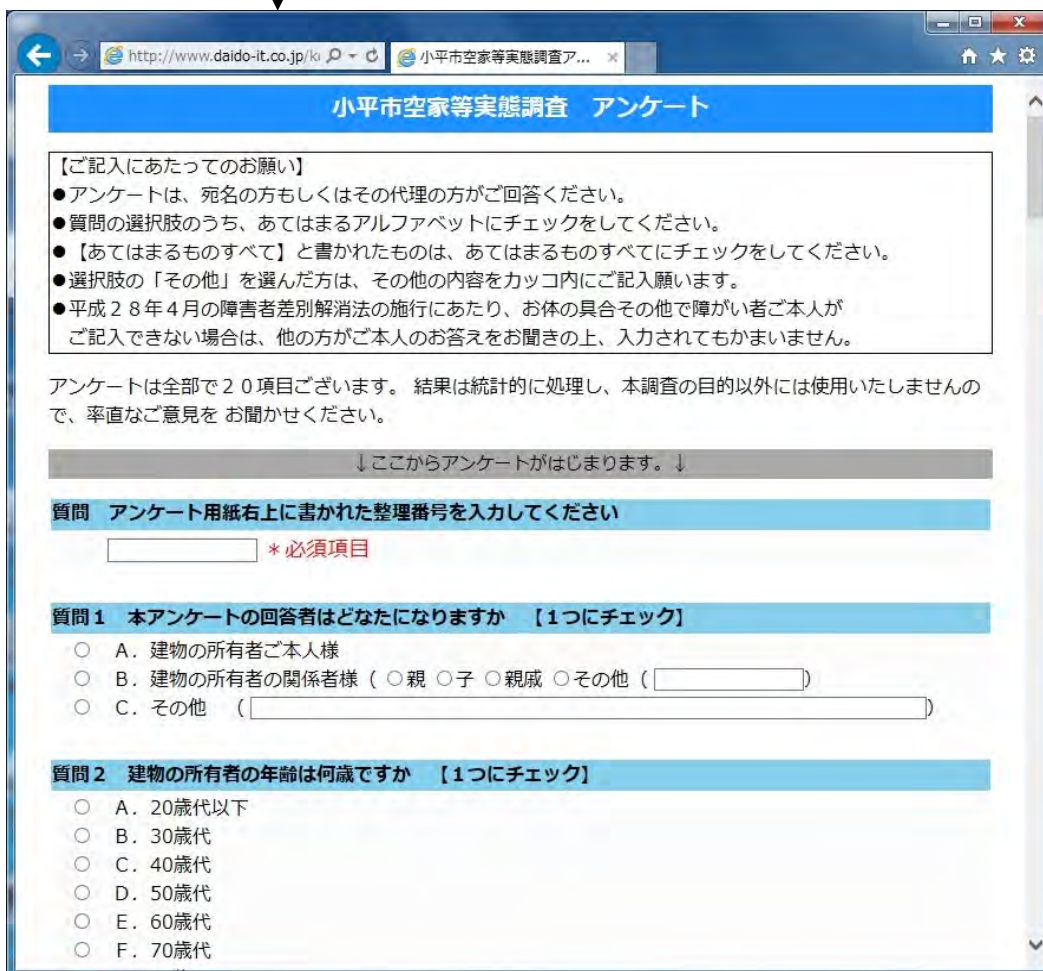
郵送によるアンケート回収のほか、インターネットで回答ができるよう専用入力フォームを作成し、携帯電話、スマートフォン、パソコンからの回答を受け付けることにより、回答率の向上に努めました。

6. 郵送によるアンケートの他に、インターネットによる回答を実施しています。インターネットにより回答をされる方は、下記の専用入力フォームより、インターネット上でアンケートにお答えください。

専用入力フォーム⇒<http://www.daido-it.co.jp/kodaira/index.html>

※インターネットにより回答される方は、アンケートの返送は不要です。

※利用する機器や通信費用等についてはご本人様のご負担となります。

小平市空き家等実態調査 アンケート

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートは、宛名の方もしくはその代理の方がご回答ください。
- 質問の選択肢のうち、あてはまるアルファベットにチェックをしてください。
- 【あてはまるものすべて】と書かれたものは、あてはまるものすべてにチェックをしてください。
- 選択肢の「その他」を選んだ方は、その他の内容をカッコ内にご記入願います。
- 平成28年4月の障害者差別解消法の施行にあたり、お体の具合その他で障がい者ご本人がご記入できない場合は、他の方がご本人のお答えをお聞きの上、入力されてもかまいません。

アンケートは全部で20項目ございます。結果は統計的に処理し、本調査の目的以外には使用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせください。

↓ここからアンケートがはじまります。↓

質問 アンケート用紙右上に書かれた整理番号を入力してください

* 必須項目

質問1 本アンケートの回答者はどなたになりますか 【1つにチェック】

- A. 建物の所有者ご本人様
- B. 建物の所有者の関係者様 (親 子 親戚 その他 ()
- C. その他 ()

質問2 建物の所有者の年齢は何歳ですか 【1つにチェック】

- A. 20歳代以下
- B. 30歳代
- C. 40歳代
- D. 50歳代
- E. 60歳代
- F. 70歳代

※この専用入力フォームはSMTP送信により入力結果が送られるため、入力データが蓄積・格納されることはありません。

